

## 平成28年度に実施した主な事業



農業機械等導入支援事業  
3,581万円



総合福祉センター管理運営事業  
8,123万円



庁舎耐震改修事業 2億5,388万円



沿岸漁業振興特別対策事業  
5,467万円



公営住宅ストック総合改善事業  
6,806万円



中間育成施設運営事業  
3,935万円



町内診療所の運営事業  
7,911万円



スポーツセンター施設建設事業 3億1,645万円  
※総事業費は15億3,668万円

## 本町の財政は健全？

### 『健全化判断比率』から見る上ノ国町の財政状況の今

健全化判断比率とは、『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』において定められた、財政状況を客観的に判断する指標です。

この比率は以下の4つの財政指標から判断され、これらが早期健全化団体に指定される基準値に対し、どれだけの差があるかによって財政状況が表されます。

健全化判断比率

実質赤字比率 (一般会計の赤字額が、収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標)  
= 0% (赤字無し) / (15%)※

連結実質赤字比率 (すべての会計の赤字額が、収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標)  
= 0% (赤字無し) / (20%)※

実質公債費比率 (公債費(借入金返済額を含む)が、収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標)  
= 5.6% / (25%)※

将来負担比率 (借入金や将来支払っていく可能性のある負担金など残高が、収入に対してどのくらいの割合になるかを示す指標)  
= 0% (不足無し) / (350%)※

※ ( ) 内の数字は、早期健全化団体に指定される法定基準

総括

財政状況は極めて健全な状態にあります。

## 町が運営する公営企業の会計は？

### 『上ノ国町の公営企業会計資金不足比率』

(公営企業の資金不足を、公営企業の財政規模である料金収入の規模に対してどのくらいの割合になるかを示す指標(不足となる基準は比率20%)

水道事業 = 0% (不足無し)

※平成29年度より、水道事業はさらなる効率的な組織運営を目的として、簡易水道事業に統合されました。このため、平成29年度決算から、水道事業分の公営企業会計は、簡易水道事業の特別会計として計上されます。

総括

財政状況は極めて健全な状態にあります。